11. 第 27 回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は，卓越した数学者を日本に招聘し，創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき，日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています．講演は専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象として行われます．高木レクチャーをもとに書き下ろした研究総説は，講演の当日に「高木ブックレット」として配布され，その後，加筆修正された原稿は査読を経て Japanese Journal of Mathematics (JJM) に掲載されることになっています．

上述の趣旨に基づいた「高木レクチャー」は 2006 年 3 月 26 日（日），日本数学会評議員会でその創設が承認され，2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されました．

このようにして始まった高木レクチャーは，コロナ禍の期間を除き継続的に開催され，創設 20 周年となる 2026 年 10 月には第 27 回を迎えます．第 27 回高木レクチャーを以下のように計画しています．(9 月 30 日時点)

日時：10 月 11 日（日）－12 日（月・祝）
場所：東京大学大学院数理科学研究科
講演者：

- Dustin Clausen (Institut des Hautes Études Scientifiques)
  Hidden Structure in Class Field Theory（類体論の隠れた構造）
- Victor G. Kac (Massachusetts Institute of Technology)
  Classification of Infinite-Dimensional Lie Superalgebras of Vector Fields and Exceptional de Rham Complexes（ベクトル場の無限次元スーパー・リー環の分類と例外的ド・ラーム複体）
- Adam Kanigowski (Georgia Institute of Technology & Jagiellonian University)
  Chaotic Properties of Deterministic Systems（決定系におけるカオス的性質）

組織委員：小野薫，河東泰之，熊谷隆，小林俊行，斎藤毅，中島啓
主催：日本数学会
　　東京大学大学院数理科学研究科
協力：Japanese Journal of Mathematics
　　日仏数学連携拠点

最新情報は高木レクチャーの HP
http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/
をご覧ください．

2006 年に創刊された Japanese Journal of Mathematics（JJM）3rd Series は，「新しい創造を引き起こすような研究総説論文」を掲載するジャーナルです．この趣旨に沿ったご投稿を歓迎しております．

JJM のホームページ
https://www.mathsoc.jp/JJM/
では，最新の情報に加え，JJM 3rd Series に掲載された概説論文のアブストラクトを英語と日本語で掲載しています．

（小林俊行 記）